

文 献

- 安部知宏・吉川周作・市原実 (1986) 明美丘陵の第四系 日本地質学会関西支部報 vol.100, p.611-62.
- 安藤保二 (1953) 舞子・高塚山貝化石 兵庫生物 vol.2, p.141-144.
- 春成秀爾編 (1987) 明石市西八木海岸の発掘調査 国立歴史民俗博物館研究報告 第13集 304p.
- 速水 格 (1985) 日本産ヤミノニシキ類の分類と進化 (予察) 貝類学雑誌 vol.44, no.1, p.3-14.
- 福田 理・安藤保二 (1951) 高塚山貝層。地質雑、vol.57, p.415.
- 藤田 晃・西脇二一・松田高明 (1987) 地学野外実習地の地質―特に神戸市西区神出町東座頭谷の地質について―甲南大学理学部紀要、vol.34, no.2, p.99-135.
- Hizuta K.(1962) Tectonic development if the median zone (setouti) of Southwest Japan since Miocene. Jour. Geos. Osaka City Univ., vol.6, p.103-144.
- 藤田和夫 (1983) 日本の山地形成論―地質学と地形学の間―蒼樹書房 466p.
- 藤田和夫 (1968) 六甲変動、その発生前後―西南日本の交差構造と第四紀の地殻変動 第四紀研究 vol.7, p.248-260.
- 藤田和夫 (1978) 西南日本における中新世以降の地殻変動と海水準変動―地層と地形の関連において 日本の新生代地質 (池辺展生教授記念論文集) p.169-185.
- 藤田和夫・笠間太郎 (1971) 六甲山地とその周辺の地質―5万分の1神戸市及び隣接地域地質図及び説明書 神戸市企画局 58p.
- 藤田和夫・笠間太郎 (1983) 神戸地域の地質 地域地質研究報告 (5万分の1図幅) 地質調査所 115p.
- 藤田和夫・前田保夫 (1984) 須磨地域の地質 地域地質研究報告 (5万分の1図幅) 地質調査所 101p.
- 飯田義生 (1980) 泉南地域の大坂層群に認められる前期更新世の不整合 大阪微化石研究会誌 vol.8, p.1-15.
- 居川信之 (1986) 西神地域の大坂層群 日本地質学会関西支部報 vol.100, p.60.
- Ikebe N.(1956) Cenozoic geohistory of Japan. Proc. 8th Pac. Sci. Congr., vol.11, p.446-456.
- 池辺展生 (1957) 日本の新生代の積成盆地 新生代の研究 vol.24-25, p.508-517.
- 池辺展生編 (1961) 17万分の1兵庫県地質鉱産図及び説明書 兵庫県 171p.
- 市原 実 (1960) 大阪・明石地域の第四紀層に関する諸問題 地球科学 vol.49, p.12-25.
- 市原 実 (1966) 大阪層群と六甲変動 地球科学 vol.85・86, p.12-28.
- 市原 実 (1983) 大阪層群の研究における現在の問題点―いわゆる"芝の不整合"の問題、および大阪層群と高位段丘層の関係について 地団研専報 vol.25, p.1-11.

市原 実・小黒譲司（1958） 明石層群、播磨層群について（その1） 地球科学 vol.40, p.12-20.

市原 実・小黒譲司・衣笠博明（1960） 明石層群、播磨層群について（その2） 地質雑
vol.66, p.605-615.

Ishihara M., Yokoyama S., Inoue K., Hayashi T., Tateishi N., and Nakajima K. (1975) Stratingraphy of the Plio-Pleistocene Osaka Group in Sennen-senpoku area, south of Osaka, Japan-A standard stratingraphy of the Osaka Group., Jour. Geos. Osaka City Univ., vol.19, p.1-29.

市原 実・吉川周作・川辺孝幸・三田村宗樹（1984） 岸和田津田川流域のいわゆる"芝の不整合"について—大阪層群の古地磁気層序とフィッシュントラック年代 地球科学 vol.28, no.1, p.1-16.

神戸の自然研究グループ（1968） アカシ象発掘記 神戸市立教育研究所 98p.

河名俊男（1973） 兵庫県加古川中下流域の段丘地形 第四紀研究 vol.12, p.38-48.

中沢圭二・市川浩一郎・市原 実編（1987） 日本の地質 「近畿地方」 共立出版 297p.

前田保夫・髯本 格（1983） 神戸の地層を読む1—神戸市研究学園都市の自然史— 神戸市立教育研究所 115p.

尾崎正紀・松浦浩久（1988） 三田地域の地質 地域地質研究報告（5万分の1図幅） 地質調査所 93p.

鹿間時夫（11936） 明石層群に就いて、地質雑 vol.43, no.5-15, p.565-590.

八木浩司（1983） 播磨灘北東部地域における段丘面の時代対比 地理学評論 vol.56, no.5, p.324-344.

横山卓雄（1983） 近畿の鮮新・更新統研究についての最近の話題 地団研専報 vol.25, p.25-43.

Yokoyama T., Nakagawa Y., Makinouchi T., and Ishida S. (1977) Subdivision of Plio-Pleistocene Sries in Kinki and Tokai Districts, Japan. Proc. First Congr. Pacific Neogene Stratingraphy, p.408-412.

横山卓雄・中原要之助・壇原 徹・竹村恵二（1981） 芝の不整合について(1)—千里山丘陵北縁部の大阪層群の層序および大阪層群中における不整合の発見と意味について 同志社大学工学部研究報告 vol.21, p.301-320.

横山卓雄・伊藤万寿美（1987） 粘土混濁水の電気伝導度による古環境の推定—千里山丘陵東端部および琵琶湖湖底におけるボーリング・コアの場合— 地質雑誌 vol.93, p.667-679.

